

令和4年度 宮古恵風支援学校教職員働き方改革アクションプラン

宮古恵風支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」に基づき、以下の取り組みにより、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

- ・昨年度の取り組みを通して改善されたが、月 45 時間超の時間外勤務職員が年間を通して、全職員中 17% となっており、更に改善を進める必要がある。
- ・計画的な定時退庁日の設定や、施錠時間（18：30）前の退庁意識が見られるようになった。



2 目指す姿

- ・教職員一人ひとりがやりがいを感じ、責任感、使命感、所属感をもちながら業務に取り組んでいる。
- ・管理職が日頃から、業務マネジメントを適切に行い、教職員が計画的に業務に取り組める状況や時間を確保できるよう努めている。
- ・教職員が定時および施錠前退庁の意識を持ち、業務にメリハリをつけながら、自身の心身の健康管理の維持につながるよう取り組んでいる。

3 取組内容

○管理職の適切なマネジメントの推進

- ・学校経営計画の推進に向け、管理職間の意思疎通を高め、明確な方向性を教職員に提示していきます。
- ・ミドルリーダーの職員と連携しながらチーム意識の浸透を図り、一体感のある職場風土の醸成に努めます。

○教職員の健康管理

- ・長時間勤務者の要因分析を行い、必要に応じて面談等を実施するなど、一人ひとりの現状把握に努めながら心身の健康管理に努めます。
- ・校内の衛生委員会を通して、業務を客観的に把握する視点を養い、職場における意識の向上を図ります。

○学校における業務改善の推進

- ・これまで改善に向けて取り組んできたことを継続し、引き続き学校行事等の見直しや会議の効率化等に取り組んでいきます。
- ・起案決裁の流れを見直し、副校長の専決決裁の範囲を拡大し、業務効率の向上を図ります。

4 目 標

- 一人あたりの年間時間外勤務の時数を 360 時間以内とする
- 施錠時刻前の退庁を全職員が一人あたり月に 4 回以上実施する
- 計画的な定時退庁日を設定し実施する（年間 15 回以上）
- 学校評価における職員の「学校教育力の向上に繋がる業務の効率化、適正化」の満足度の割合 90% 以上